

日本版台湾関係法の制定を

維新 新風組織委員
(北東北ブロック担当)

小野 洋之

令和2年9月号(277号)
(皇紀2680年) 毎月1日発行

新風

編集人 瀬戸 開

発行人 魚谷 哲央
年間購読料 2,000円

維新 新風本部
〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下ル
第2ふじビル4階
TEL.075-708-3700 FAX.075-708-3800
<https://shimpu.jpn.org/>
otayori@shimpu.jpn.org



何故ならば、香港の一国二制度を円満に認め続けてる

台湾武力併合の意志表明

北京政府が香港に対して国家安全維持法を制定した。これが一国二制度は瓦解した。一国二制度は、一九八四年の英支共同宣言で取り決められた香港返還の条件で国際公約であるが、一九九七年の返還から五十年間の高度な自治権を香港に約束したものだ。しかし、これは逆に言へば、北京政府は二〇四七年まで我慢すれば、黙つてゐても香港は北京政府の支配下になるのである。余計な民主派弾圧など行はず、放つておく方が北京政府にとつては得策である筈だつた。

北京政府は南支那海での挑発を始め、空母機動部隊をわざ

アメリカへの牽制

現在、人民解放軍は独自開発したとされるステルス戦闘機も実戦配備段階に入った。空母も手に入れた。ミサイルも最新の極超音速ミサイルが実戦配備段階に入った。この極超音速ミサイルには、昨今話題となったイージスアショアでは対応出来ない。人民解放軍の装備の近代化は日進月歩の様相である。一方で、米軍は武漢肺炎抗原COVID-19のパンデミックで、即応能力の低さを露呈した形となつた。

とまで言つてゐる。実際、北

日本への恫喝

更に北京政府はその先の沖縄をも狙つてゐるのは、最近の人民日報や環球時報で「琉球は元々中国のものだつた」といふ主張記事が出始めた事からも明らかだ。彼らはその紙上で「二〇二〇年から二〇二五年の間に台湾を回収し、二〇四〇年から二〇四五

台湾は日本防衛の要衝

我が国が如何に優れた技術を持ち、如何に優れた兵器を保有しようとも、台湾海峡を扼され資源が枯渇すれば、それは張子の虎も同然。個別

台湾への安全保障に参加する必要がある。日米同盟が強力

に組んで台湾の安全を保障する事により、北京政府の侵略を阻止する事が出来るのである。

しかし、さうした施策は、現行の占領憲法では論外である。自民・公明連立の安倍政権の加憲改憲案程度では、質的にも時間的にも対応できない。我が国は早急に、自衛目的以外でも軍事力行使を可能とする、また集団的自衛権の行使を認める憲法に変えなければならぬ。

更に、核兵器を抑制出来るのは核兵器だけである。我が国は独自の核抑止力を保有しなければならぬ。幸ひにして我が国は、遠く宇宙の彼方の小惑星に探査機をピンポイントで着陸させる技術を持つてをり、またその小惑星で採取した物質を無傷で地上に持ち帰る大気圏突入技術もある。これは十分に高度なミサイル技術に転用可能なレヴェルだ。極超音速ミサイルの開発にも着手してゐる。

原発(原子力発電)を開発保有し運営する実績があり、またプルトニウムも大量に保有してゐる。人民解放軍から台湾を守るだけの軍事力の整備は可能である。後は、法整備と軍事力整備の実行、そして国民有権者と政治の「覚悟」次第である。

「中華民族の夢」と称するこの習近平の野望を食ひ止める為に、我が国が採るべき外交手段として、アメリカに国内法として台湾関係法がある様に、我が国も我が国がなすべき「台湾関係法」を制定すべきである。

新風驟雨

いま日本・世界は極悪コロナに振りまはされ自粛の毎日。そんな中、国はGOTOキャンペーンといつて、温泉に行つて下さい、遊びに行きませうと、一兆三億円の予算をつけた。一方では、お年寄りとは会つてはいけない、会食会合はするなど規制をする。生活スタイルが変つてしまふ。政治家(屋)はコロナを政治利用(利権)してはいけない。政治の矛盾についてコロナをきっかけに改めて考へてみようではないか。地球人口は七十五億人。コロナでの死亡率は約二%とも言はれてゐる。すると一億五千万人が死亡することになる。ところが、環境問題で地球上の人類が全滅、死滅する危機に直面してもゐる。これから三十年間が勝負である。過去に恐竜も全滅したではないか。イースター島では石しか残つてゐない。樹木も切り尽くしたらなくなるのだ。化石燃料はいつまでも使へない。世界が砂漠になつてしまふ。日本も持続型経済に変はらなければいけない。又、米国のトランプ大統領みたいな物事を一国でのみ考へる人物が多くなつたが、国際協力の重要性を踏まへなければ駄目だ。最後に、次回の参議院選挙は維新 新風 新風の命運が問はれることになるのではないか。(鹿)

本紙目次

- 一頁：日本版台湾関係法の制定を
- 二頁：党声明 他